

ご 案 内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の  
派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成 29 年度研修

# 建 築 R C 構 造

(隔年実施)

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター  
一般社団法人 公共建築協会  
後 援 国 土 交 通 省  
全国知事会・全国市長会・全国町村会

近年、頻発する地震やさまざまな自然災害に対する安全性、また建築士法や建築基準法による規定など、鉄筋コンクリート造（RC造）建築物に対する要求は多様化しています。

**本研修は、建築構造設計基準・鉄筋コンクリート構造計算基準を基に現場の実務に精通した講師陣により構造計算演習と理論等を組み合わせ、分かり易く解説します。**

特に演習では、モデル建築物の構造計算を講師の指導により、実際にご自身で計算をしていただきますので、鉄筋コンクリート造の設計・施工に携わる方々にとって大変有意義な研修となっております。

また、全国の実務担当者との交流を図る貴重な機会として好評を得ています。皆様のご参加をお待ちしております。

【 受講された方々の声 】

- ・限られた時間の中で講義と演習があり内容の濃い研修でした。RC構造の計算について順序を確認しながら問題を通じて学ぶことができました。
- ・演習形式で、不明な点もその場で答えていただけるので、理解しながら学ぶことができる充実した内容でした。
- ・講義内容も充実していたが、特に印象に残ったのは講師の方が、熱心に指導してくれたことです。

\*\*\*\*\*

**研修期間 平成29年8月21日（月）～ 8月25日（金）5日間**

**研修場所 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館**

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042-324-5315 <http://www.jctc.jp/>

当センターのホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

\*\*\*\*\*

◎ 本研修は、建築S構造研修と隔年で実施しておりますので、是非この機会を逃さずご参加下さい。

※受講経費の助成制度がある道県（政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります。）

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・熊本・大分・宮崎の19道県  
詳細は、各市町村振興協会にお問い合わせください。

# 平成 29 年度研修「建築 R C 構造」実施要領

1. 目的 構造理論とモデル建築物の構造計算演習等によって、建築 R C 構造に関する専門的に必要な知識を修得する。  
また、共同生活による相互啓発、相互交流、情報交換を通じて職場における業務の推進に資するものとする。
2. 対象職員 国、地方公共団体、独立行政法人等及び民間企業等において建築構造計算業務に携わる実務経験の浅い職員。
3. 募集人数 60 名
4. 研修期間 平成 29 年 8 月 21 日（月）～ 8 月 25 日（金）5 日間  
全寮制（通学を希望される方は、ご相談ください。）
5. 集合日時 8 月 21 日（月）8 時 45 分までに、研修会館にご集合ください。  
※前日宿泊を希望される方は、21 時までにご入館ください。

## 6. 教科目、講師及び研修場所（次頁以降参照）

## 7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター研修局 担当：増田・久保寺

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

※申込はインターネット、郵送、FAX、メールいずれでも受け付けております。

ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>

メールで申込みをする場合は、申込書フォームをメールでご請求ください。

TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296 メールアドレス：uketuke@jctc.jp

## 8. 研修経費及び納入先

(1) 研修経費（1 人当たり、消費税を含む）

① 研修会費 97,000 円

② 宿泊費 11,600 円（4 泊分）※前日宿泊の場合、1 泊分（2,900 円）追加となります。

③ 合計額 108,600 円

(2) 研修経費納入先

三菱東京 U F J 銀行

新宿支店 普通預金 No. 0000316

ザイ) ゼンコクケンセツケンシュセンター

一般財団法人 全国建設研修センター

リジョウ アサマ ガズオ

理事長 浅野間 一夫

受講通知書到着後にお振り込みください。

振込手数料はご負担ください。

なお、お振込の際には「振込依頼人名」等の頭に受講通知書等に記載されている「申込番号」を入力ください。

また、経費別の納入及び当日持参も可能です。

(参考) 食費は、研修会館内の食堂（土・日・祝日は休み）で定食を取られた場合、朝 420 円、昼 470 円となります。支払いは直接食堂へお願いします。なお、夕食は現在休止しております。

## 9. 申込締切日 平成 29 年 8 月 14 日（月）

## 10. その他

- (1) ご持参いただくもの 筆記用具、電卓（関数機能付き）、共済組合員証又は健康保険証、洗面用具、タオル類、着替え、雨具等。
- (2) 宿泊施設は 2～6 人部屋となっています。
- (3) 研修会館に備わっているもの（浴衣、スリッパ、洗濯機、乾燥機、洗濯洗剤、石鹼、シャンプー、ドライヤー）
- (4) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (5) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

## 平成29年度研修「建築RC構造」時間割

講義日時	講義時間	教科目	講師		
			所属	氏名	
8/21 (月)	8:30 ~ 8:45	受付 オリエンテーション・開講式			
	8:45 ~ 9:30				
	9:30 ~ 10:20 (昼休み1.0h)	1.0h	官庁営繕における 構造関係基準の体系	国土交通省 大臣官房 官庁営繕部 整備課 官庁施設防災対策官	田中 宏明
	10:30 ~ 15:00 (昼休み1.0h)	3.5h	構造力学	東京理科大学 工学部第二部 建築学科 名誉教授	寺本 隆幸
15:10 ~ 18:10	3.0h	構造計画	株式会社日建設 エンジニアリング部門 構造設計グループ 副代表 構造設計部長	小板橋 裕一	
8/22 (火)	9:00 ~ 11:00	2.0h	仕様と設計実務における 留意点	株式会社日建設 エンジニアリング部門 構造設計グループ 副代表 構造設計部長	小板橋 裕一
	12:00 ~ 18:30	6.5h	演習・解説	(演習内容) 構造計算演習のオリエンテーション  ・ 一般事項 ・ 準備計算(荷重設定、部材剛性の算出、CMQの算出など) ・ 二次部材の設計(スラブ、小梁の検討)	一般社団法人 公共建築協会 教務専門委員  清水 豊和 (五洋建設株式会社 建築部門 建築本部 建築部門担当 顧問)
	18:30 ~		自主演習		
8/23 (水)	9:00 ~ 18:30 (昼休み1.0h)	8.5h	演習・解説	応力計算  ・ 固定法による鉛直荷重時応力の算出 ・ D値法による水平荷重時応力の算出 ・ ねじれの検討  部材断面の算定の概要と断面算定の一部	清水 欽也 (五洋建設株式会社 建築部門 建築本部 建築設計部グループ長)
	18:30 ~		自主演習		坂本 隆之 (五洋建設株式会社 建築部門 建築本部 品質監理チーム 専門部長)
8/24 (木)	9:00 ~ 18:30 (昼休み1.0h)	8.5h	演習・解説	主架構の部材断面算定  ・ 応力計算結果を元に部材断面を設計 ・ 基礎の設計(杭、地中梁の検討)  保有水平耐力の計算の概要  ・ 部材の曲げ終局強度(MU)の計算 ・ 骨組みのメカニズム時の耐力算定	阪口 暁洋 (五洋建設株式会社 建築部門 建築本部 建築設計部 課長)
	18:30 ~		自主演習		
8/25 (金)	9:00 ~ 15:00 (昼休み1.0h)	5.0h	演習・解説	・ 骨組みのメカニズム時の耐力算定(残り) ・ せん断設計(耐震壁の設計) ・ 部材の種別判定と集計  ・ Ds値の計算  電算機による構造計算書と本構造計算 (手計算計算書)の比較検討	
	15:00 ~ 15:15		閉講式		

合計 38.0h 講義 9.5h  
演習 28.5h

※教科目及び講師については変更することがあります。

【参考】 H29年の演習で構造計算する建物の概要  
 ・建築場所 東京23区内(地表面租区分Ⅲ)  
 ・用途 事務所  
 ・構造種別 RC造(耐震壁付ラーメン構造)  
 ・階数 地上2階、地下なし  
 ・最高高さ 7.9m

・軒高 7.3m  
 ・延床面積 1F:252㎡、2F:252㎡、合計504㎡  
 ・地盤 第2種地盤  
 ・基礎形式 既製コンクリート杭基礎  
 ・塔状比  $7.3/14=0.521 < 4.0$  ※塔状比=高さ÷見付幅

# 平成 29 年度研修 「建築 R C 構造」 申込書

一般財団法人 全国建設研修センター

L108

ふりがな				年令・性別	
氏名				満才 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
最終学歴	<input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 短大	<input type="checkbox"/> 高専	<input type="checkbox"/> 専門学校
	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> その他			科卒業/修了
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役職名	<input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 技術	
勤務先	(勤務先名)				
	部 課 Tel				
	E-mail @				
勤務先種別	<input type="checkbox"/> 国、地方公共団体		<input type="checkbox"/> 独立行政法人等		<input type="checkbox"/> 技術センター、財団、社团
	<input type="checkbox"/> 建設業者		<input type="checkbox"/> コンサルタント		<input type="checkbox"/> その他
勤務先所在地	〒 -				
研修経費納入方法	研修会費		<input type="checkbox"/> 振込	<input type="checkbox"/> 持参	宿泊費
			<input type="checkbox"/> 振込	<input type="checkbox"/> 持参	
前日宿泊 (8月20日)	希望する		希望しない		

◎ 前日宿泊の希望は、(希望する 希望しない) のいずれかを○で囲んでください。  
 ※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。  
 申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

< 建築 RC 構造研修 >

受講者派遣機関名

〒 - Tel

所在地

派遣事務担当者

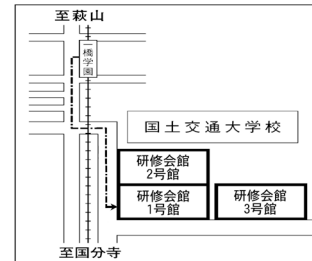
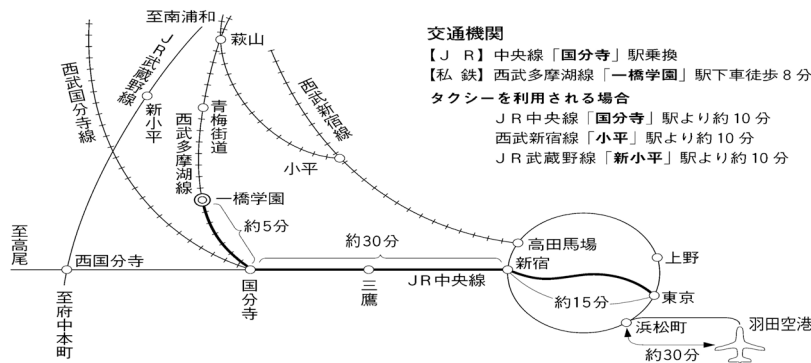
所属・氏名

キ リ ト リ セ ン

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター  
 研修会館 ※ 1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2  
 TEL 042 (324) 5 3 1 5 (代)  
<http://www.jctc.jp/>



【参考】平成 29 年度、当センターが実施いたします建築部門の研修は次のとおりです。

研修名	対象者	日数	期間	研修会費 (円/人)	研修名	対象者	日数	期間	研修会費 (円/人)	研修名	対象者	日数	期間	研修会費 (円/人)
建築施工マネジメント	一般	3	4/26(水)	60,000	建築設備(空調)	一般	9	7/24(月)	120,000	建築工事監理 II	行政	5	10/2(月)	95,000
建築工事監理 I	行政	5	5/15(月)	95,000	建築リニューアル	一般	3	7/26(水)	69,000	公共建築設備工事積算(電気)	行政	3	10/31(火)	63,000
建築設備工事監理	一般	4	5/30(火)	75,000	建築 RC 構造	一般	5	8/21(月)	97,000	木造建築物の設計・施工のポイント	一般	3	11/7(火)	69,000
建築基準法(建築物の監視)	行政	5	6/12(月)	93,000	建築確認実務 II	一般	4	9/12(火)	70,000	建築設計	一般	5	11/13(月)	85,000
建築確認実務 I	一般	4	6/19(月)	70,000	建築物の環境・省エネルギー	行政	3	9/13(水)	67,000	建築設備(電気)	一般	10	11/29(水)	141,000
建築工事のポイント	一般	4	6/27(火)	79,000	BIM	一般	2	9/21(木)	50,000	建築物の維持・保全	一般	4	H30 1/16(火)	84,000
女性技術者による建築計画	一般	3	7/12(水)	64,000	公共建築工事積算	行政	5	9/25(月)	90,000					

※「行政」… 国及び地方公共団体、独立行政法人等の職員を対象とした研修 / 「一般」… 行政、民間の職員を対象とした研修  
 研修のしおりはホームページ「受講にあたって」からご覧いただけます。  
 平成 29 年度に実施する研修の実施計画についてはホームページで閲覧できます。ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>